

担体利用高度処理システム(バイオチューブ)

技術概要

反応タンクに固定化担体を投入し、硝化細菌を高濃度に保持することで、標準法と同等の反応時間で窒素除去を行う。

担体の特長

- ・ 微生物(硝化細菌)を大量に保持
- ・ 耐久性が高く補充が不要(13年間補充なく安定運転継続中)
- ・ 反応タンク内で均一に分散
- ・ 保管が容易

適用範囲

- ・ 適用処理方法
 - 1.担体利用嫌気—無酸素—好気法
 - 2.担体利用循環式硝化脱窒法
- ・ 適用水温は15℃以上

導入メリット

- ・ 反応タンクの増設無く高度処理化へ対応
- ・ 新設高度処理施設の反応タンクの省スペース化

バイオチューブ

寸法: 外径4mm×内径3mm×長さ5mm

材質: ポリプロピレン + タルク 比重: 1.01(水とほぼ同等)

